

## 日光市が 結核対策推進 特別優良市町村表彰



秩父宮妃殿下から表彰状を受ける斎藤日光市長

長年、結核予防に尽力し優秀な成果を収めたとして、(財)結核予防会から昭和六十三年

結核対策推進特別優良市町村として日光市が表彰を受けました。

日光市の住民検診受診率は、六十年、八七・三割で県平均の四二・八割を大きく上回っています。また、過去五年間でも八五割以上の高受診率で、全国的にも上位にランクされるなど、地域ぐるみの活動が認められたものです。

四月五日、第一生命保険相互会社(東京都千代田区)で行われた式では、結核予防会総裁である秩父宮妃殿下から特別優良市町村二十六市町村と優良市町村十九市町村に表

彰状と盾がそれぞれ贈られました。このあと、表彰を受けた市町村を代表して日光市長が、

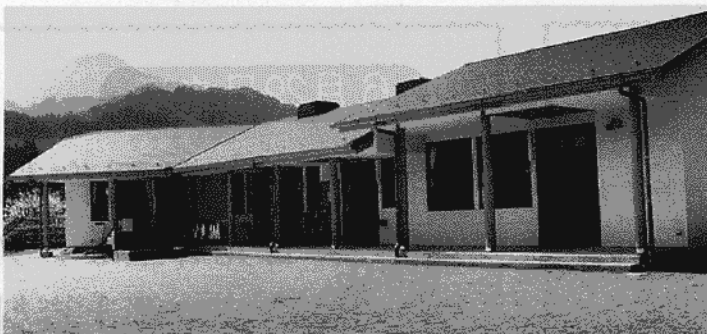
「これからも、なお一層、結核予防に対する諸施策を実施し、その撲滅に努める覚悟です」と謝辞を述べました。

## 簡易生命保険や 各種年金の積立金は こんな事業に

皆さんが加入している簡易生命保険や郵便年金、国民年金、厚生年金などの積立金は、地元に還元されて、いろいろな事業に役立てられています。日光市も、六十二年度には、次の四事業がこの融資を受けました。

- ◎年金積立金還元融資
- ・小来川保育園建設事業 九百四十万円
- ・細尾テニスコート整備事業 九百四十万円
- ◎簡易生命保険積立金還元融資

- ・作業道辰己ヶ沢線・林道宇都保沢線開設事業 二百三十万円
- ・林道河原小屋三の宿線整備県営事業負担金 二百三十万円



年金積立金還元融資を受け三月二十三日に新築開園した小来川保育園

## 寸描



今年の四月の雪は、そんなに珍しいことではないが、

量の多さと、重さには驚かされた。樹木は自然の変化を予知して、枝葉を伸ばし、風雪に耐えて来ていることと思う。しかし、今度の雪には面食らったのだろうか。二十糎もの桜の枝が折れていた。諸々の面から自然は、人間に功罪を与えてくれる。力学上「許容」と言う言葉があるが、人間生活の上でも、心も身体も健康



日光市長 斎藤善蔵